

# USER REPORT

## 国交省鉄道局の省令を受けて、高精度の検査器を新たに導入

伊豆箱根鉄道株式会社

### 伊豆箱根鉄道株式会社

伊豆箱根鉄道グループは、伊豆・箱根をメインエリアとして、鉄道、バス、タクシー、船舶の運輸事業、観光事業、旅行業、保険代理業などを営んでいる。歴史ある鉄道部では、国交省の安全規則改正に伴ってアルコール測定器ALC-miniⅢを導入、飲酒運転防止に厳しい姿勢で臨んでいる。



### 新しい基準値に対応するために

長澤運転係長：当社は、道交法に定められた基準値をもとに、呼気1リットル中0.13mg以上を検知するアルコールチェッカーを使用していました。しかし、平成22年10月1日より0.10mg/Lを基準値とする国交省鉄道局の省令が発せられたため、0.05mg/Lから検知できる東海電子の製品に切り替えました。飲酒に対する基準も厳しくなり、行政処分の内容も細かく明確にされた中、当社としては、酒気帯び運転を防ぎ、安全運行を確保するためにも高精度のアルコール検知器が必要でした。

田内管区長：ALC-miniⅢの検知精度は予想以上に高く、0.13mg/Lというそれまでの当社の基準は甘かったと感じています。人命を預かる鉄道事業者として国の省令には厳格に対応していくべきだと思います。



### 飲酒に対する意識が大きく変化

田内管区長：アルコールチェックは出勤点呼時に行い、測定結果は鉄道部の規定に則って管理しています。当然のことながら基準値以上のアルコール反応が出た場合は乗務させません。また、乗務員を指導する立場にある点呼執行者にも検査を義務付けています。飲酒運転根絶の意識をお互いに共有することが会社にとって大切だと考えるからです。

長澤運転係長：以前はお酒も一つのコミュニケーションとして懇親会が多くあったようですが、ALC-miniⅢ導入後は、飲酒に対する意識に変化が出てきました。乗務員としての健康管理やプロ意識の向上に繋がっていることは良いことだと思います。



田内管区長：早朝勤務の乗務員は特に自重していますし、早期就寝を心がける者、自費で簡易型チェッカーを購入して二重にチェックしている者もいます。社員の飲酒に対する意識は大きく変わりました。

伊豆箱根鉄道グループの鉄道部は、輸送の安全性向上に取り組む国の省令を真摯に受け止め、飲酒運転防止に力を入れている。地域の通勤・通学者の利用が多い鉄道路線を営む同社にとってALC-miniⅢの導入意義は深い。

ご利用機器 プリンター一体型測定器  
**ALC-miniⅢ**

### 取材ご協力

#### 伊豆箱根鉄道株式会社

鉄道部運輸課 運転係長 **長澤 靖二** 様  
駿豆線運転管理所 管区長 **田内 清和** 様

〒411-8533  
静岡県三島市大場300番地  
TEL 055-977-1207  
FAX 055-977-0400  
URL <http://www.izuhakone.co.jp>

